教科・科目	理科・生物	単　位　数	４単位	学年･学級	３年Ⅳ群
使用教科書	改訂版　生物（数研出版）	副　教　材	生物　学習ノート　（数研出版） ニューステージ新生物図表（浜島書店）		

学校教育目標	郷土を愛し　たくましく生きよう　自ら学ぶ意欲を持ち続けよう					
育成を目指す資質・能力	傾　聴　力		協　働　力	○	議論する力	◎
	自　省　力		理　解　力	○	批　判　力	◎
	自己実現力		表　現　力	◎	情報活用力	○
学習の到達目標	・生物や生物現象に対する探究心を高める。 ・目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付ける。 ・生物学の基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を身に付ける。					

評価の観点

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
A 使える	生物や生物現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付け応用しようとしている。	生物や生物現象の中に問題を見いだして仮説を設定し、探究する過程を通して事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを見通しをもって行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、応用的知識を身に付けている。
B わかる	生物や生物現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。
C できる	生物や生物現象に関心や探究心をもち、科学的態度を身に付けている。	生物や生物現象について探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を記録、整理する技能を身に付けている。	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則についておおむね理解し、知識を身に付けている。
D	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。	A、B、C いずれにも該当しない。
具体的改善策	・授業において、主体的な課題への取り組みや WS への適切な記述	・授業 WS や実験 WS の的確な記述 ・考査の思考・判断・表現分野の得点 UP ・テスト前補習	・授業毎の課題での得点 UP や WS の適切な記述 ・考査の技能分野の得点 UP ・実験 WS の適切な記述	・授業毎の課題での得点 UP や WS の適切な記述 ・各小テスト得点 UP ・考査の知識・理解分野の得点 UP ・再小テスト、テスト前補習
評価基準	関心・意欲・態度 （１０点） A：　８点　～　１０点 B：　４点　～　７点 C：　１点　～　３点	思考・判断・表現 （３０点） A：２１点　～　３０点 B：１１点　～　２０点 C：　１点　～　１０点	技能 （３０点） A：２１点　～　３０点 B：１１点　～　２０点 C：　１点　～　１０点	知識・理解 （３０点） A：２１点　～　３０点 B：１１点　～　２０点 C：　１点　～　１０点
	何で評価するか ・授業ごとの課題（WS） ・授業毎の振り返り ・単元毎の振り返り	何で評価するか ・定期考査 ・授業ごとの課題（WS） ・実験 WS	何で評価するか ・定期考査 ・授業ごとの課題（WS） ・実験 WS	何で評価するか ・定期考査 ・小テスト ・授業ごとの課題（WS）

【学習計画】

月	単元	学習の目標【評価の観点:評価方法】	自己評価	実際評価
4	第１編　生命現象と物質	✎前期の目標		
	１章　細胞と分子	・生物基礎の内容を想起し、より詳しく細胞の構造について理解し、生命現象を分子レベルでとらえることができる。【①、③、④:WS、実験レポート】		
5	**【単元テスト】**	✎振り返り【②～④:単元テスト】【①:すべての授業】		

月	単元	学習の目標【評価の観点:評価方法】	自己評価	実際評価
6	２章　代謝 【単元テスト】	・呼吸の解糖系、クエン酸回路及び電子伝達系、光合成の光化学系、電子伝達系及びカルビン・ベンソン回路について理解し、図にまとめることができる。【①、③、④:WS、小テスト】		
		・光合成色素抽出実験を行い、光合成色素と光の吸収、なぜ葉が緑色なのか等について考察することができる。【②、③:実験レポート、WS】		
		✎振り返り【②～④:定期考査】【①:すべての授業】		
7 8	３章 遺伝情報の発現 【単元テスト】	・DNA の構造と複製を理解し、DNA 抽出実験と二重らせん構造のモデルを作成することができる。【③、④:WS、実験レポート】		
		・生物基礎の内容を発展させ、転写、スプライシング、翻訳について塩基配列とアミノ酸配列を作図することができる。【③、④:WS】		
		・バイオテクノロジーの利点と欠点について、自分の考えを持ち議論することができる。【①、②:WS、ディベート】		
		✎振り返り【②～④:定期考査】【①:すべての授業】		
9	第２編 生殖と発生 ４章　生殖と発生 【単元テスト】	・身近な例から、遺伝現象と染色体の関わりについて理解し、身のまわりの現象と関連づけて考察することができる。【①、②、④:WS】		
		・受精卵から成体が形成されるまでの流れについて、カエルを中心に視覚的にとらえることができる。【③、④:WS】		
		・植物の受精について正しく理解し、身のまわりの現象と関連づけて考察することができる。【①、②、④:WS】		
		✎振り返り【②～④:定期考査】【①:すべての授業】		
10 11	第３編　生物の環境応答 ５章 動物の反応と行動 【単元テスト】	✎後期の目標		
		・眼球の構造とその作用について正しく理解し、ブタの眼球の解剖実験を正確に行うことができる。【②、③、④:実験レポート】		
		・中枢神経系の構造とその仕組みについて理解し、鶏頭水煮の解剖実験を正確に行うことができる。【②、③、④:実験レポート】		
		✎振り返り【②～④:定期考査】【①:すべての授業】		
12	６章 植物の環境応答 【単元テスト】	・植物ホルモンのはたらきや植物の環境応答の仕組みについて理解し、植物ホルモンの実験を正確に行うことができる。【②、③、④:WS、実験レポート】		
		✎振り返り【②～④:定期考査】【①:すべての授業】		
1 2	第４編　生態と環境 ７章 生物群集と生態系 第５編 生物の進化と系統 ８章 生命の起源と進化 ９章 生物の系統 【単元テスト】	・個体群内の相互作用として種内競争と社会性、個体群間の相互作用として捕食と被食、種間競争及び相利共生について理解し、身のまわりの現象と関連づけて考察できる。【①、②、④:WS】		
		・地球の変遷とそれに伴う生物の進化についてとらえ、これからの地球と生物の変遷を、仮説を立てて考察することができる。【①、②、④:WS】		
		・身近な生物を中心に生物の分類をすることができる。【①、④:WS】		
		✎振り返り【②～④:定期考査】【①:すべての授業】		

✎最終評価（自己評価／実際評価）

①関心・意欲・態度		②思考・判断・表現		③技能		④知識・理解	